みんぱくリポジトリ
国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnolo

Discussions and Conclusion : Ecology and Material Culture Complexes

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-02-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 佐々木, 高明 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15021/00003686

第 4 章

討　論　と　結　論

I. 東南アジア・オセアニアの生業形態と物質文化の分布

——「生態環境と文化複合」という課題に沿って——

佐々木　高　明*

1. はじめに
2. 東南アジア・オセアニアにおける生業形態の大類型区分と物質文化要素の抽出
3. 生業形態と物質文化項目数
4. 生業形態と物質文化内容についての若干の検討
5. まとめ—物質文化要素の分布類型—

1. はじめに

今回の共同研究で得られた資料を通観して，エコロジカルな観点から，その特色を考えてみよ，というのが私に与えられたもともとの課題である。しかし，文化人類学の研究において「生態学的(エコロジカル)」といわれる場合の意味内容は，一般に必ずしも明確ではない。“自然環境との関係を重視し，主として生業のレベルを中心に文化の問題を考える”という程度に，漠然と捉えられていることが少なくないように思う。本稿でも「生態学的(エコロジカル)」という言葉を，この程度にルースに解釈し，分析を行うことにしたい。

図1は東・南アジアの植生の特徴を概括的に示した図である。大局的にみると，西南中国から東南アジア北部にかけては照葉樹林帯が東西にのび，その南には亜熱帯および熱帯モンスーン林（雨緑林）と熱帯多雨林が広範囲に分布している。とくにマレー半島から東南アジア島嶼部にかけては年中高温多雨な熱帯多雨林帯がひろがるが，それはニューギニア島の大部分をおおい，さらにメラネシア，ミクロネシア，ポリネシア（ニュージーランドを除く）の島々のほとんどすべてが，この気候帯に属している。オセアニアの島々は，気候的にはきわめて単調であり，エコロジカルな区分は，むしろ地形的（土壌的）なものと関係するとみてよい。

* 国立民族学博物館第2研究部

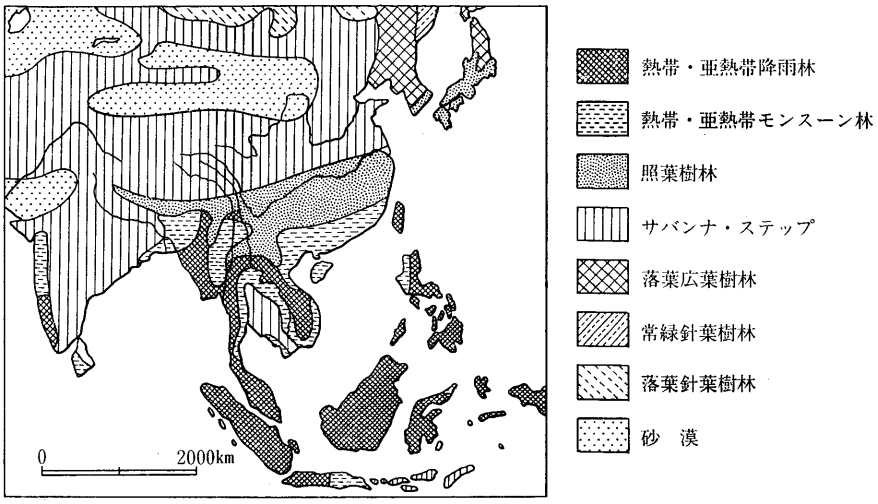

図1　東・南アジアの植生

これに対し，東南アジアの大陸部は，条件がやや複雑で，冬季に亜熱帯モンスーン林帯よりも一層乾燥の著しいサバンナ気候の地帯が，東北タイを中心にかなりのひろがりをみせている。また，このサバンナ気候は，島嶼部でもインドネシア東部にあらわれ，その範囲はオーストラリアの北岸をひろく覆い，さらに内陸部の乾燥地帯に連なっている。今回，われわれが研究の対象とした地域の生態学的な性格づけを，ごく概略的に述べると，上述の如くである。

さて，本稿の課題に再びもどると，今回，われわれがとりあげた237民族，延343項目の文化要素を，そのままの形で直接的に分析の対象とするには，さまざまな要素が混在しすぎて，必ずしも好ましくない。むしろ，生態学的（エコロジカル）という言葉を，前述のように考えると，文化項目の中から物質文化に比較的関係するようなものを選び，その上で237民族をいくつかの生業形態に類型化し，その類型ごとに，上記の物質文化にかかわる文化要素がどのように分布するかを調べることとしたい。それを通じて東南アジア・オセアニア地域における生態的条件と文化的諸要素の地域的分布の関係や意味を考えることができると思うのである。

2.　東南アジア・オセアニアにおける生業形態の大類型区分と物質文化要素の抽出

さて，東南アジア・オセアニアの諸民族の生業形態を大類型に分類するに当っては，

いろいろの考え方があるかもしれないが，筆者はきわめて単純に①採集・狩猟・漁撈に主として依存している民族(Hの記号で表わす)，②焼畑農耕に主として依存している民族（記号Bで表わす)，③水田稲作農耕に主として依存している民族（記号Pで表わす)，④上記のBとPの中間的な性格を有する民族（記号Mで表わす）に，4大分類することにした。伝統的に水田稲作（P）の存在しないオセアニアについてはしばらくおくとして，東南アジア全体についてみると，採集・狩猟民の農民化，焼畑農耕民の水田農民化の動きなどが著しく進行しているので，厳密な意味での分類は容易ではない。だが，資料になる民族誌が書かれた時点についての配慮や今回の調査が最近における文化変容の実態の解明をめざすものではなく，伝統的文化の類型区分に重点をおくものだという点などを考慮して，東南アジアに関しては，伝統的な生業形態の特色に注目して大類型の分類を行った。その際，ルバーを中心に HRAF が編纂した *Ethnic Groups of Mainland Southeast Asia* [1964], *Ethnic Groups of Insular Southeast Asia* [1972, 1975] の二つの資料集には，われわれがとりあげたほとんどの民族について，その生業形態 (Economy) の特徴が摘記されている。東南アジアの生業形態の分類に当っては，いちおうその記述も参考にした。

この場合，焼畑に主として依存する民族（B）については，その中での生業形態の変異の幅が非常に大きいことが知られている。なかでも，インドネシア東部からニューギニア低地に及ぶ焼畑民の間では，サゴヤシ澱粉のもつ経済的重要度が大きく，近い過去にサゴヤシに大きく依存する生業形態を有していたものが少なくないと考えられる。このような点から，いまもサゴヤシへの依存度の大きいものをBSという類型で表わし，Bのサブ・カテゴリーの一つとした。

つぎにオセアニアの島嶼部は，東南アジアに較べれば，伝統的生業形態の特色は比較的単純で，全体としての生業形態の特色は，B（つまり焼畑に主として依存するもの）類型として区分できる。しかし，その中には典型的な焼畑ではなく，タロイモ水田に主として依存したり，あるいは火入れを伴わない切替畑を中心にしているものなどが数多く含まれている。したがって，オセアニアの島嶼世界の伝統的生業形態はOBとして表わし，大類型Bのサブ・カテゴリーの一つとした。それに対し，大陸的な性格の強いニューギニア内陸部の焼畑民たちはNBというサブ・カテゴリーで捉えることとした。

Bという記号で示した生業形態の中の変異の幅は確かに大きいが，水田稲作を主とする生業形態Pの特色と比較すれば，その詳細は論じないが，いろいろな点で大きな違いがある。内部にさまざまな差異を含みながら，B（焼畑）の類型をP（水田稲作）

の類型と対比させたのは，それが《非水田稲作農耕》として一括しうる特色を有するためにほかならない。

つぎに今回，分析の対象とした物質文化の項目については，附表1，附表2に示した202項目を秋道智彌の協力のもとに，筆者が選定した。選定の基準は特別のものを用意したわけではなく，ごく常識的に“物質文化”と考えられるものを，今回の文化項目表の中から選択したものである。具体的には，狩猟，漁撈，農耕，食物・調理法，流通・交換，交通・運搬，船，家屋，家具・道具，服飾，織物・タパ加工，バスケット・土器，鍛冶・金属加工，武器，発火法，芸術，娯楽の各大項目に含まれる小項目の大部分を選ぶことになった。その結果，上記のように202項目を“物質文化”にかかわる文化項目として選択することとなったのである。

3. 生業形態と物質文化項目数

次に示す表1は，さきに述べた生業形態の大類型によって分類した民族類型ごとに，物質文化にかかわる文化項目が，それぞれいくつ現われるかを総括的に整理したものである。

狩猟採集民（記号H）として分類したものは，アンダマン諸島の Andamanese やマレー半島の Semang をはじめ，オーストラリア・アボリジニなど11 ethnic groups（以下「民族集団」とよぶ）である。その1民族集団当りの物質文化項目数の平均は20.5となっている。同様に焼畑を主とする農耕民（記号B）に属する民族集団は総数176で，1民族集団当りの文化項目数は37.8を示す。その中には前述のように，典型

表1　民族類型の物質文化項目数

	生業形態別民族類型	民族数	1民族当り文化項目数
H	狩猟採集民	11	20.45
B	焼畑を主とする農耕民 (BB·BS·OB·NB を含む)	176	37.81
	BB 典型的な焼畑民	79	42.04
	BS 焼畑とサゴを主とする農耕民	12	35.83
	OB オセアニア島嶼部の農耕民	68	34.83
	NB ニューギニア内陸民	17	29.80
M	焼畑と水稲栽培を行う農耕民	18	52.22
P	水稲栽培民	31	47.42

的な焼畑民や焼畑とサゴを主とする農耕民，さらにはオセアニア島嶼部の農耕民やニューギニア内陸高地の住民などが含まれているが，それぞれについて民族集団数や1民族当りの文化項目数の平均などは表1に示したとおりである。

さらに記号Mで示した焼畑と水稲栽培を行う農耕民として分類したものには，スマトラの Minangkabau，スラウェシの Southern Toradja，フィリピンの Bontok Igorot や Ifugao などをはじめ18民族集団が属する。その1民族集団当りの文化項目数の平均は52.2でかなり高い数値を示している。同様に水稲栽培民（記号P）と分類したものには，ヴェトナム人，タイ人，ビルマ人，ジャワ人，バリ人などをはじめ31の民族集団がそれに属し，1民族集団当りの物質文化項目数の平均は47.4と，これもBのグループとほぼ同じかなり高い数値を示している。

これらのH，B，M，Pの記号で示す民族類型ごとの1民族当り物質文化項目数（平均値）については，その統計的有意性を検定しておく必要がある。その結果は，表2に示した通りで，PとMすなわち「水稲栽培民」と「焼畑と水稲栽培を行う農耕民」の二つの民族類型の相互間を除き，他の民族類型ごとの物質文化項目数の平均値相互の間には，統計的に有意差があることがわかった。つまり，東南アジア・オセアニア地域における狩猟採集民（20.45），焼畑農耕民（37.81），水稲栽培民（47.42あるいは52.22）の3者の間には物質文化の量において明瞭な差のあることが統計的に検証されたわけである。この事実は，採集・狩猟段階から焼畑耕作の段階をへて水稲栽培段階に至る生業形態や文化の進化を考える，一般的な進化の図式とも矛盾するものではない。とくに採集狩猟民のそれと水稲栽培民のそれとを比較すると，1民族当りの物質文化項目数に2倍以上の大差がある。両者の物質文化量の差異の大きさが，いまさらの如く注目される。ただし，その差異の内容についての分析は次項で試みることにし，いま少し物質文化量の検討をつづけたい。

焼畑を主とする農耕民176民族については，それをさらに細分化し，四つのサブ・

表2　異なる生業間における物質文化項目数の検定

生　業	t	p
狩猟採集と焼畑耕作	3.81*	p<0.0005
狩猟採集と水稲耕作	3.10*	p<0.05
狩猟採集と焼畑・水稲	5.41*	p<0.0005
焼畑耕作と水稲耕作	2.84*	p<0.005
焼畑耕作と焼畑・水稲	3.71*	p<0.0005
水稲耕作と焼畑・水稲	0.62	差なし

* 有意差あり

カテゴリーを設けることは，前にも述べたが，その中でも典型的な焼畑農耕民（BBの記号で示す）として分類した79民族につき，さらにその居住地域により細分化を試みたのが表3である。アッサム・アラカン山地群には Khasi, Garo はじめナガ諸族や Thado-Kuki, Chin など，アッサム・アラカン山地の熱帯モンスーン林あるいは熱帯多雨林に居住する焼畑農耕民12民族が含まれる。その物質文化項目数の1民族当りの平均値は47.92でBBブループのなかではかなり高い値を示している。これに対し，インドシナ山地群は，雲南，北ビルマ，北タイ，ラオス，ベトナムからカンボジアにいたる山地において，冬季に乾燥する亜熱帯モンスーン林で焼畑を営むグループである。Kachin, Akha, Karen, Muong, Lamet そのほか25の焼畑農耕民が含まれているが，その物質文化項目数の平均値は38.72を示し，アッサム・アラカン山地群のそれとの間には統計的に有意差が生じている（$t=2.15$, $p<0.025$）。

この有意差が何によって生じたのか，いまにわかにその要因は明らかにし難いが，すでに別稿でもふれたように，アッサム・アラカン地域の焼畑の多くは，輪作年次のやや長い《雑穀・陸稲型》のそれであり，また集落も大型の塊村であることが多い。それにたいし，インドシナ山地群に属する焼畑民の多くは，陸稲を1年間のみ栽培して耕地を他に移動させる《陸稲単作型》の焼畑を営み，集落も中・小型の疎塊村を形成する例が少なくない。このような差異が物質文化の量的相違を生み出した要因の一部を構成するかと思われるが，詳細は不明である。

しかも，このインドシナ山地群の焼畑農耕民とインドネシア島嶼群（これにはNias, Mentaweian, Dusun, Wemale などスマトラ，ボルネオ，東インドネシアに至る熱帯多雨林の焼畑民が含まれる）やフィリピン・台湾群（Hanunoo, Ivatan, Paiwan, Atayal などを含む）の1民族当りの物質文化項目数を比較した場合，統計的に有意の差は認められない。ということは，アッサム・アラカン山地群がやや特異な性格を示すほか，東南アジアの焼畑農耕民の物質文化の量的水準には，全体として大きな差がないものとみて差し支えないと思われる。

表3　典型的な焼畑農耕民

	地域別細区分	民族数	1民族当たり物質文化項目数
BB1	アッサム・アラカン山地群	12	47.92
BB2	インドシナ山地群	25	38.72
BB3	インドネシア島嶼群	23	42.78
BB4	フィリピン・台湾群	15	42.46
BB	総計（その他とも）	79	42.04

なお事例数が少ないので，統計的な比較はできないかもしれないが，台湾山地の焼畑農耕民7民族の1民族当り物質文化項目数の平均は48.86となり，さきに示したアッサム・アラカン山地群の47.92ときわめて近い高い値となる。以前から台湾の高砂族とアッサムのナガ諸族の物質文化の特徴には類似する点が少なくないことがよく指摘されてきた。この数値の類似は，そのことと関係があるか否か，興味がそそられるところである。

つぎにオセアニア世界についてみると，そこでとりあげられる民族集団の大部分（85民族）が焼畑を主とする農耕民（記号B）として捉えられることは，前にも述べた通りであるが，その85民族を秋道智彌らの助言により，さらに表4のような四つのグループに細分化することとした。その第1はミクロネシア・ポリネシアの島々に住む住民を，居住する島の自然条件の違いにより高い島に住む住民と低い島の住民に区別した。またメラネシアについては，ニューギニアを除いても，大型の島嶼が多く，民族の歴史でもミクロネシア・ポリネシアと異なるので，メラネシア島嶼の住民を区別した。さらにニューギニアについては低地部のサゴヤシへの依存度の高いものは，既述のようにBSとして区別し，内陸部の住民を一括して一つのグループとした。その結果得られた四つの民族類型ごとの民族数と1民族当りの平均物質文化項目数は，表4に示したごとくである。

表4　生態区分別の物質文化項目数

オセアニア・ニューギニアの生態区分による民族類型	民族数	1民族当り物質文化項目数
ミクロネシア・ポリネシアの高い島の住民	15	48.47
ミクロネシア・ポリネシアの低い島の住民	23	32.52
メラネシア（ニューギニア内陸部を除く）の島嶼住民	30	29.80
ニューギニア内陸部の住民	17	31.41

表5　オセアニア世界の生態区分別民族類型とその物質文化数の検定

対比した民族類型	t	p
ミクロネシア・ポリネシアの高い島と低い島の住民	3.56*	p<.0005
ミクロネシア・ポリネシアの高い島と典型的な焼畑農耕民	1.61*	差なし
ミクロネシア・ポリネシアの高い島と焼畑とサゴを主とする農耕民	2.03*	p<0.05
ミクロネシア・ポリネシアの低い島と焼畑とサゴを主とする農耕民	0.67*	差なし
ミクロネシア・ポリネシアの低い島とニューギニア内陸部の住民	0.29	〃
メラネシア島嶼住民とニューギニア内陸部の住民	0.42	〃
メラネシア島嶼住民と狩猟採集民	2.09*	p<0.025

* 有意差あり

ここでまず注目される事実は，ミクロネシア・ポリネシアにおける高い島に居住する住民と低い島の住民の物質文化の量が，相互にかなり異なることである。1民族当りの物質文化項目数の平均値は，前者が48.47，後者が32.52で，両者の間には表5に示したように統計的に有意差が現われている。しかも，高い島の住民のそれは，東南アジアにおける典型的な焼畑農耕民（BB）のそれ（42.04）との間には有意の差のないことも明らかになっている。

ミクロネシア・ポリネシアにおける高い島というのは，その多くがやや大型の火山島で，陸島的な性格を有している。それに対し，低い島の多くは，隆起珊瑚礁や環礁を主とし，島が小さく環境条件が比較的単純である。このようなエコロジカルな条件の差が，両者の物質文化の量の差を生み出した一つの要因と考え得るのではなかろうか。高い島の住民がインドネシアやマレーシアの島嶼部の焼畑農耕民とその物質文化の保有量であまり差がみられないというのも，このような点と関係するとみてよいのではなかろうか。

しかし，オセアニアの島嶼世界の全体をみると，ミクロネシア・ポリネシアの高い島の住民のそれはやや特殊で，1民族当りの物質文化の項目数をみる限り，ミクロネシア・ポリネシアの低い島の住民のそれとメラネシアの島々やニューギニア内陸部の住民のそれ，さらには東部インドネシアからニューギニア海岸部に分布する焼畑とサゴを主とする農耕民のそれとの間には差がほとんどみとめられない。そのことは表4，表5に示された通りである。

全体としては東南アジア島嶼部やミクロネシア・ポリネシアの高い島からニューギニア，メラネシアへ向け，1民族当りの物質文化の保有量が漸減する大きな傾向がみとめられるようである。とはいっても，ニューギニアやメラネシア島嶼部の1民族当りの物質文化項目数と採集狩猟民のそれとの間には統計的に有意差がはっきりみとめられる(表5)。農耕民と狩猟採集民との間には物質文化の所有量のレベルに画然たる差異のあることを，ここでもう一度強調しておきたい。

4. 生業形態と物質文化内容についての若干の検討

物質文化の量（種類）について，いままで種々検討を加えてきたが，つぎに物質文化とその内容についての若干の分析を試みることにしたい。そのための簡便な方法として，すでに設定した主として生業形態にもとづく民族類型ごとに，代表的だと思われる民族をいくつか選び出し，具体的にどのような物質文化の項目が記録されている

かをチェックしてみた。附表1，附表2がそれである。各民族類型ごとの代表例が少ないので，統計的に扱うことは難かしいが，附表1，附表2から筆者が読みとり得た情報の主要なものをまず摘記し，その後に両者の比較，つまり東南アジアとオセアニアの概括的な比較を行なってみたい。

まず，附表1には採集狩猟民の代表として Andamanese, Semang および Murungin の3民族をとりあげた。このうちマレー半島の Semang は採集・狩猟活動のかたわらサツマイモ，陸稲，雑穀を焼畑で栽培し，マレー式ブイゴと製鉄の技術などを有している。かれらは他の2民族に比し，農耕段階への過渡期にあるといえる。それを反映してか，その物質文化項目数も39と焼畑農耕民の平均値に近く，他の2民族の29を大きく上回っている。ところで，ここで興味深い事実は，上記の三つの採集狩猟民族に共通する狩猟・漁撈用具は狩猟用の槍，箭，銛などの刺突具で，狩猟用弓矢すらオーストラリアの Murngin ではこれを欠いている。また，おとし穴，はねわな，くくりわな，網猟などの装置型の狩猟用具は，Andamanese や Murngin などにはまったく見出されず，Semang や Lamet や Iban あるいは Minangkabau など焼畑農耕を営む民族の間にひろくみられることである。これに対し，銛は狩猟民の間には共通するが，農耕民の間では唯一の例外 (Bontok Igorot) を除いて見当たらない。このことから刺突具(槍・銛)→弓矢→わな猟という狩猟法とその用具類の進化の図式が描けるかもしれない。

また，食物・調理法については，地炉石焼というアーカイックな調理法が Andamanese と Murngin に存在するのに対し，少なくとも附表1にかかげた東南アジアの他の民族の間ではみとめられない。ところが，酒，木綿，竹製かご，刀剣，楯などは，附表1にあげた他の東南アジアの農耕民のほとんどすべてが所有している物質文化の要素である。それにもかかわらず，採集狩猟民を代表する三つの民族は，いずれもそれらを所有していない。その解釈については，詳しい研究が改めて必要だが，例えば採集狩猟民が刀剣や楯をもたないことは，彼らの間には，もともと戦争が存在しなかったことをよく示しているといえるのではなかろうか。

つぎに附表1に代表としてとりあげられた農耕民のもつ物質文化の諸要素について考えてみることにしよう。グループとしては Vietnamese, Burmese, Balinese などの典型的な水田農耕民グループ，Sema Naga, Lamet, Iban らの典型的な焼畑農耕民のグループ，その両者の中間的な性格を示す Minangkabau, Southern Toradja, Bontok Igrot のグループがあり，それに今回，分析の対象とした176民族のなかで，物質文化の項目数が121を数え，もっとも多かった Bugis を水田グループのなかに加

えて考察の対象とした。

これらの東南アジアの農耕民10民族のすべてに共通する物質文化の要素は，雑穀栽培，ニワトリ，酒，木綿，竹製籠，金属製飾り輪の6要素であり，これに準ずるもの（9～8民族に共通）としては水稲栽培，たて杵と臼，鍬，ブタ，ウシ，キンマ，頭上運搬，箕，篩（ふるい），土器，製鉄技術（あるいはマレー式フイゴ），刀剣，楯などがある。これらは焼畑や水田農耕の区別なく，東南アジアの農耕民に比較的ひろく分布している物質文化の要素だということができる。これに対し，はねわな，くくりわな，網猟など装置型の狩猟具や魚毒，頭部支持背負い運搬，ふんどし，猪牙製装身具，ロングハウスなどは，焼畑グループや中間グループの一部などにみられるが，附表1所載の水田稲作グループ（Bugis を除く）にはみられない。つまり，これらの物質文化要素は山地に居住する狩猟民や焼畑農耕民，とくに後者の間で特有に発達し，典型的な水田稲作民の間では失われたか，あるいはもともと存在しなかった文化要素だということができるのではなかろうか。

それに対し，水田漁撈をはじめ，唐すき（犁），天秤棒，金銀細工，踏み臼，高機（踏み織機）などの要素は，水田稲作グループや中間グループの間にひろく分布し，焼畑グループの間にはほとんど分布しない。また，これらの物質文化の要素は，オセアニアにまでは，その分布がほとんどひろがっていない。つまり，これらの諸要素は，東南アジアにおける水田稲作文化を構成する，特有の物質文化の要素の一部をなすものとみて差し支えないと思われるのである。

なお，一般に稲作文化の特色とされる高床穀倉は雑穀栽培を主とする焼畑農耕民の間にも分布し，水田稲作文化の特有の要素とするわけにはいかない。また，犁や牛車を所有しない焼畑農耕民のもとにおける水牛や牛の飼養（附表1の例では Sema Naga や Lamet）は，儀礼における供犠用，あるいは財産として，それらを飼育しているものと考えられる。

つぎに附表2によって，オセアニアにおける物質文化要素の分布を検討してみよう。既述のように，オセアニアの民族を，ここでは大別してミクロネシア・ポリネシアの高い島の住民（Palau と Marquesas を代表とする），低い島の住民（Satawal と Tuamotu を代表とする），Trobriand 島民で代表されるメラネシア島民およびニューギニア内陸部住民（Enga を代表とする），同低地住民（Kiwai を代表とする）の5類型に分け，それぞれを代表すると思われる七つの民族をとりあげ，物質文化項目の存在をチェックした。

その結果，ミクロネシア・ポリネシアの高い島と低い島，あるいはニューギニア，

メラネシアとの間には物質文化の項目数では有意の差があったが，具体的な文化の内容については目立った違いが，附表2の資料からはみとめられなかった。したがって，ここではオセアニア地域内の地域差，民族差ではなく，東南アジアとの比較を中心に若干の検討を行ってみる。

さて，附表2に示したオセアニアにおける5民族類型，例示した7民族にすべて共通して存在している物質文化の要素としては，タロイモ栽培とブタ飼育の2要素があり，これに準ずる（6民族に共通する）要素としてサツマイモ栽培，パンノキ栽培，料理用バナナ栽培，掘棒，地炉石焼，シングルアウトリガー・カヌー，貝製飾り輪，樹皮布，こん棒，槍の10要素があげられる。これらの物質文化の要素を仮に「オセアニア型要素」と名づけ（イモ類・バナナ栽培やブタ飼育，あるいは掘棒，こん棒，槍などの要素は東南アジアにも分布するが，オセアニアにおける分布が，より普遍的で特徴的なので「オセアニア型要素」とした），さきにあげた附表1にもとづく，東南アジアにひろく分布する物質文化の要素と対比して整理して示すと，次の表6のようになる。

表6の諸要素のなかには，注に記したように若干の問題はあるが，全体としては両地域の物質文化の特色をよく示しているということができる。

東南アジアの農耕民は雑穀と水稲栽培を基本にし，農具としては鍬や犁などの分布がひろく，たて杵と臼や箕・篩などを使って脱穀・調整するのにたいし，オセアニアの農耕民はタロイモをはじめバナナ・サツマイモなどの根栽作物を掘棒を使って栽培し，地炉石焼調理法がよく用いられている。家畜では東南アジアのブタ，ウシにたいし，オセアニアではブタが圧倒的に多く，他の家畜類の分布は限られている。嗜好品では酒やキンマが東南アジアに広く分布するのに対し，オセアニアではそれらやカヴァの分布はごく限られている。また，運搬具については表6の注にも記したように，頭上運搬と頭部支持背負運搬の2要素は相互補完的で，この双方をあわせたものが東南アジアからニューギニアにかけ，かなりひろく分布している。他方，オセアニアではシングルアウトリガー・カヌーが広範に分布することは周知のとおりだが，くり船やダブルアウトリガー・カヌーの分布は意外に少なく，くり船の分布の中心は，むしろ東南アジアおよびニューギニアにある。さらに装身具や布では東南アジアでは金属製飾り輪や木綿がひろい分布を示すのにたいし，オセアニアでは貝製飾り輪と樹皮布（タパ）がひろく分布し，高機や絣などの分布は欠けている。また，武器という点については，東南アジアでは刀剣と楯が農耕民の間にかなり広く分布するのに対し，オセアニアではこん棒と槍がそれに対応する分布を示すようである。両者の差異は，伝統的な製鉄技術の存在と深く関係していると考えられるが，その点についての考察は

表6　東南アジアとオセアニアを特色づける物質文化要素の比較

東南アジア型の物質文化要素	オセアニア型の物質文化要素
雑穀栽培	タロイモ栽培
水稲栽培	サツマイモ栽培
たて杵と臼	パンノキ栽培
ブタ	料理バナナ栽培
ウシ	ブタ
酒	掘棒
キンマ	地炉石焼
頭上運搬*	シングルアウトリガー・カヌー
金属製飾り輪	貝製飾り輪
木綿	樹皮布
竹製かご	こん棒
箕・篩	槍
土器	
刀剣	
楯	

*：本表は附表1，附表2の記載をもとにしたものである。たとえば「頭上運搬」は附表1記載の民族ではすべてみられるが，全体としての事例数は多くない。むしろ「頭部支持背負い運搬」と一緒にして，後述の如く「東南アジア・ニューギニア型」の物質文化要素と考えるのがよいかもしれない。楯やキンマもその分布からみると「東南アジア・ニューギニア型」といえる。附表1，附表2による限りニワトリの分布は東南アジアに限られるが，事例をより多くとると，その分布はオセアニアにまでひろく及んでいることがわかる。

別に行うこととしたい。

なお，分布の問題に関していえば，東南アジアとオセアニアの間における物質文化要素の分布の差異については，従来から指摘されてきたが，今回の調査により，「東南アジア＝ニューギニア型」とでもいうべき分布の特色をもつ文化要素の存在することが，明らかになったことは注目すべきである。すなわち，さきにも少しふれた「頭部支持運搬」は，アッサムから東南アジア山地，アンダマン諸島，東南アジアの島嶼部をへてニューギニアおよびその付近のメラネシアの島嶼部にまで至る，主として焼畑農耕民のもとにかなりひろい分布を示している。これと補完的な関係を示す「頭上運搬」は水田農耕を営む人たちと焼畑農耕民の双方にわたりほぼ似た分布を示す。この両者の分布と類似したアッサムからニューギニアにかけてひろく分布するのが，楯の所有とキンマを嚙む習俗で，とくに後者は東南アジアにまんべんなく分布するとともにミクロネシアやメラネシアの一部までおよんでいる。くり船も楯やキンマとほぼ似た分布を示す。さらに猪牙製装身具の分布についてみると，アッサム山地の焼畑農

耕民のところから東南アジア島嶼部の焼畑農耕民をへてニューギニア内陸部にまで達している。またその一部はサモア，ハワイなど太平洋の高い島の1，2の地点に及んでいるが，それを除けば，頭部支持背負い運搬と基本的に似た分布をしている。猪牙製装身具や頭部支持運搬と同じように，ロングハウスの分布も，東南アジア大陸部の山地焼畑農耕民のところからニューギニア沿岸部に至っている。これらは東南アジアからニューギニアに至る古い焼畑農耕民文化を構成する重要な文化要素の一部であったとみることができるようである（表9参照）。

5. まとめ ——物質文化要素の分布類型——

以上，東南アジア・オセアニアにおける物質文化要素の分布を検討してきたが，大局的にみて，その分布には3～4の類型があるように思われる。その第1は，東南アジアからオセアニアにかけてひろく分布し，とくにオセアニアでの分布が濃密で，その文化を特徴づける文化要素となっているもの（表7）と東南アジアからオセアニアにほぼ均等にひろく分布するもの（表8）である。このうち表7・表8で＊印を付したものは，いわゆる根栽農耕を特色づける作物や家畜であり，＊＊を付したものはより古層の採集・狩猟段階の文化と関係づけて考えうる可能性のある物質文化の要素といえる。東南アジアからオセアニアに展開した文化には，基本的にこの二つの文化層があったことは，このような物質文化要素の分布からも明瞭に示すことができる。

第2の類型は，すでに説明を加えた東南アジア・ニューギニア型の分布を示す物質文化の要素である。表9にその主要なものをまとめて掲示した。これらの文化要素の多くは，かなり古い文化層に属するものと思われるが，キンマ，猪牙製装身具，サゴヤシ澱粉，くり船などは，とくにミクロネシア，ポリネシアの島嶼では，その原料が入手し難い。このため，これらの文化要素は，比較的古い焼畑農耕文化と関係するものと考えられるが，メラネシアの一部を越えてオセアニアの島嶼世界へは展開しなかったと考えられる。

なおサゴヤシ澱粉の採取・利用の慣行は，アッサムの一部とニコバル諸島，スマトラに点在し，ボルネオ，スラウェシから東部インドネシアの諸島嶼，ニューギニアに至る地域に集中的に分布し，メラネシアの一部にまで達している。その利用形態は採集と栽培の中間形態ともいえるものであり，東南アジアの島嶼部からメラネシアに至る熱帯多雨林帯における根栽農耕成立以前の主要な生業形態が，サゴヤシ澱粉の採取を中心としたものであった可能性を，その分布は示しているようにも考えられる。だ

が，詳しい考察は後考をまちたい。

つぎに東南アジア世界にひろく分布しているのが，表10に示したような農耕文化の諸要素である。いずれも，水田稲作民のところばかりではなく，東南アジア大陸部と

表7　オセアニアを特徴づける物質文化要素

タロイモ栽培	*
ブタ飼育	*
サツマイモ栽培	*
パンノキ栽培	
料理バナナ栽培	*
掘棒	**
地炉石焼	**
シングルアウトリガー・カヌー	
貝製飾り輪	
樹皮布	**
こん棒	**
槍	**

*：根栽農耕を特色づける作物・家畜
**：より古層の採集・狩猟段階の文化伝統と関係する可能性のある文化要素

表8　東南アジアからオセアニアに分布する文化要素（主要なもの）

ヤムイモ栽培	*
ニワトリ	*
弓矢	**
いかだ	**
ふんどし（男子用）	**
凧	?
男子集会所	*?

*，**：表9を参照

表9　東南アジア・ニューギニア型の分布を示す文化要素

キンマを嚙む習俗
楯の使用
くり船
頭部支持背負い運搬（頭上運搬）*
猪牙製装身具*
ロングハウス*
サゴヤシ澱粉*

*：焼畑農耕民のところにのみ分布

表10　東南アジアにひろく分布する農耕文化要素

雑穀栽培
陸稲栽培
水稲栽培*
鍬
たて杵と臼
ブタ
ウシ
水牛
高床穀倉
酒
金属製飾り輪
木綿
箕
篩
竹製かご
土器
製鉄技術
マレー式フイゴ

*：雑穀・陸稲を主作物とする焼畑民のもとでも，最近，水稲作が奨励され，小規模な水稲栽培が行われている。それが記録されたらしい。

表11　水田稲作文化が新しく加えた主要な物質文化の要素

水田漁撈
唐すき（犁）
踏み臼
絹
高機
天秤棒
輿
金銀細工
影絵芝居など

島嶼部の陸稲や雑穀を主作物とする焼畑農耕民のもとにもひろく分布している。したがって，これらの文化要素はもともと雑穀（陸稲）栽培型の焼畑農耕と結びついて展開したものとみて差支えない。その後，この雑穀（陸稲）栽培型の焼畑農耕文化を基礎として，新たに生み出されてきたのが水田稲作文化だといえる。したがって，水田稲作文化は基本的には表10に示した物質文化の諸要素をすべて，その中にとり込んだうえ，東南アジアの事例によると，少なくとも表11に示したような物質文化の諸要素を新たに加えたものと考えられる。

本稿では検討の対象から除外した社会的・政治的・宗教的な諸要素については，稲作文化の段階になって新たに付加された文化要素が少なくないようである。だが，少なくとも物質文化に関する限り，水田稲作文化は，その主要な構成要素を雑穀栽培文化に負うていることは，この例によっても明らかである。

なお，インドの稲作文化を特徴づける文化的特色の一つに乳利用があるが，東南アジアにおける乳利用の分布は，Burmese, Nashi, Pai など照葉樹林帯の北西部でチベット文化の影響をうけたものと Cambodian, Cham, Redjang, Southern Toradja など古くインド文明の影響をうけたものなどに限られている。インドのそれと東南アジアの稲作文化が画然と区別される重要なポイントの一つを，ここに見出すことができると思うのである。

附表1　生業形態と物質文化

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
1101 **狩猟**	吹矢	×	○	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	○
1102	毒矢	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○
1103	狩猟用弓矢	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×
1104	狩猟用槍	○	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○
1105	狩猟用投げ棒	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1106	おとし穴	×	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○
1107	はねわな	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○
1108	くくりわな	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	○
1109	網猟(とりもち猟をふくむ)	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○
1201 **漁撈**	漁撈用弓矢	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1202	やす	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○
1203	もり	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
1204	四つ手網	×	×	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	×
1205	筌	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○
1206	単式釣りばり	×	×	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○
1207	複式釣りばり	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
1208	擬餌ばり	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1209	石干見	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
1210	えり	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×
1211	凧揚げ漁	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1212	魚毒	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○
1213	松明漁	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
1214	鵜飼漁	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1215	サメ漁	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1216	柴漬漁	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1217	泥ぞり	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1218	水田漁撈	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×
1219	潜水漁撈・採集	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
1301 農耕	タロイモ栽培	×	×	×	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○
1302	タロイモ水田栽培	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×
1303	ヤムイモ栽培	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○
1304	サツマイモ栽培	×	○	×	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○
1305	パンノキ栽培	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1306	料理バナナ栽培	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×
1307	オカボ栽培	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
1308	赤米(の存在の有無)	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	○
1309	雑穀栽培	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1310	水稲栽培	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
1311	階段状耕地	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	×
1312	焼畑耕作	×	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○
1313	掘棒	○	×	○	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○
1314	唐すき	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
1315	くわ	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
1316	たて杵とたて臼	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
1317	ふみ臼	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
1318	牛に踏ませる脱穀	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
1319	高床穀倉	×	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×
1320	家畜　ニワトリ	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1321	家畜　ブタ	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
1322	家畜　水牛	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×
1323	家畜　牛	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
1401	食物・料理法　サゴヤシ澱粉	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○
1402	乳製品	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×
1403	魚醤	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×	×	○
1404	キンマ(ベテルナッツ)噛み	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
1405	発酵茶	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×
1406	カヴァ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1407	酒(原料・製法問わず)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1408	甑	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1409	地炉石焼	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1502	流通交換　鋳造貨幣	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×
1503	子安貝	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
1504	石貨	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1505	(貨幣としての)貝がらビーズ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1506	むしろ(パンダナス)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1601	交通運搬　頭上運搬	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
1602	頭部支持背負い運搬	○	×	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○
1603	天秤棒	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×
1604	肩掛け運搬具	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○
1605	木橇(しゅら)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
1606	輿(人間をはこぶため)	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×
1607	牛車	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×
1608	つり橋	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×
1701 船	いかだ	×	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	○	○
1702	くり船(アウトリガーなし)	○	×	○	○	○	×	○	○	×	○	×	×	○
1703	シングルアウトリガー・カヌー	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1704	ダブルアウトリガー・カヌー	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×
1705	ダブル・カヌー	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
1706	ゴンドラ型構造船	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○
1707	樹皮船	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
1708	家船	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×
1709	帆(の有無)	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
2101 家屋	風よけ	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○
2102	半球状小屋	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2103	切妻屋根	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
2104	入母屋屋根	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
2105	寄棟屋根	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
2106	円錐形屋根	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
2107	杙上(高床)家屋	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
2108	平土間家屋	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×
2111	炊事舎	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×
2112	産小屋	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2113	月経小屋	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2114	カヌー小屋	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
2115	男の家(男子集会所)	○	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×
2116	樹上家屋	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
2117	ロングハウス	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○
2201	家具 道具 もみ錐	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○
2202	ポンプ錐	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
2203	貝斧	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
2204	石斧	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×
2205	膝折柄	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×
2206	中間鞘つき着柄	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
2207	垂直柄に刀をはめこむ	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
2208	たが式着柄法	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
2209	樹脂着柄法(れきせいを含む)	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○
2210	枕	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
2211	油脂ランプ	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○
2212	複数脚つき木鉢	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
2213	脚なし木鉢	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
2214	動物形木鉢	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
2215	うるし技法	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
2303 服飾	ターバン	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○	○
2304	パンダナス製雨頭巾	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×
2305	貫頭衣	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
2306	肩かけマント	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×
2307	腰みの	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
2308	腰巻	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
2309	ふんどし(男性用)	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
2310	陰茎鞘(ペニスケース)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2311	脚はん	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2312	長ぐつ(半長ぐつ)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2313	草鞋	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
2314	石製飾り輪(腕輪・首輪など)	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×
2315	貝製飾り輪(腕輪・首輪など)	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○
2316	金属製飾り輪(腕輪・首輪など)	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2317	子安貝製装身具	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
2318	猪牙製装身具	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
2501 織物・タバ加工	樹皮布	×	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	○	○
2502	単綜絖織機(地機)	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	×	○
2503	高機(踏み織機)	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
2504	ろうけつ染	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
2505	絣(ikat)	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○
2506	しぼり染め(plangi)	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
2507	木綿	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2508	絹	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×
2509	芭蕉布	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2601	バスケット・土器　笊(ざる)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
2602	篩(ふるい)	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○
2603	箕(み)	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
2604	パンダナスの葉製かご	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○
2605	竹製かご	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2606	把手つきかご	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○
2607	土器製造(の有無)	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○
2701	鍛冶・金属加工　製鉄技術	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×
2703	マレー式フイゴ	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○
2704	箱式フイゴ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2705	皮フイゴ	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
2706	踏みフイゴ	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
2708	金銀細工	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
2801	武器　ブーメラン	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2802	投石器	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
2803	弓	○	○	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×
2804	いしゆみ	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
2805	こん棒	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	○
2806	刀剣	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
2808	クリス	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×
2809	サメの歯付き武器	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
2810	楯(の有無)	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
2814	鎧	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×
2815	槍	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○
2901	発火法 発火錐	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2902	発火鋸	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
2903	発火籐	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×
2904	発火犁	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
2905	火打石	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×
2906	火打金	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
2907	発火ポンプ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
3408	集落・地域組織 出作り小屋(田屋を含む)	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	○
4212	宗教 巨石記念物(メンヒル・ドルメン)	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
5201	芸術 ブルローラー(うなり板)	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×
5202	割目太鼓	×	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×
5203	皮張り太鼓	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
5204	砂時計型太鼓	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
5205	銅鼓(現代における使用)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×
5206	フルート(横笛)	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
5207	たて笛	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
5208	パンパイプ	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
5209	笙	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○
5210	ホラ貝	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
5211	シロフォン	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×
5212	口琴	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×
5213	絃楽器	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
5214	仮面舞踏	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○
5215	足を組んだ坐像(仏像を含む)	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
5216	蹲踞人像	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×
5217	二重らせん	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×
5218	切線円	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×
5219	鋸歯紋	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○
5220	らでん(螺鈿)	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5301	**娯楽**　竹馬	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×
5302	凧	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×
5303	ボール遊び	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×
5304	こま	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	×	○
5305	チェス類	×	×	×	○	○	○	×	○	×	○	○	×	×
5306	人形芝居	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
5307	影絵	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×
5308	闘鶏	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○

		採集狩猟民			水稲栽培民				焼畑と水稲栽培を行う農民			焼畑農耕民		
		Andamanese	Semang	Murngin	Vietnamese	Burmese	Balinese	Bugis	Minangkabau	Southern Toradja	Bontok Igorot	Sema Naga	Lamet	Iban or Sea Dayak
5309	闘牛	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×
5310	ブランコ	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
5311	あやとり	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×
5312	舟競争	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×

附表2　オセアニアにおける物質文化要素の分布

	低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
	Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
1101 狩猟　吹矢	×	×	○	×	×	×	×
1102　毒矢	×	×	×	×	×	×	×
1103　狩猟用弓矢	×	×	○	×	○	○	×
1104　狩猟用槍	×	×	×	×	○	○	×
1105　狩猟用投げ棒	×	×	×	×	×	×	○
1106　おとし穴	×	×	×	×	×	×	×
1107　はねわな	×	○	×	×	○	×	×
1108　くくりわな	×	○	○	×	×	×	×
1109　網猟(とりもち猟をふくむ)	×	○	×	×	×	×	×
1201 漁撈　漁撈用弓矢	×	×	×	○	×	○	×
1202　やす	×	○	○	○	×	○	×
1203　もり	×	○	×	○	×	○	○
1204　四つ手網	×	×	×	×	×	×	×
1205　筌	○	×	○	○	○	○	×
1206　単式釣りばり	○	○	○	○	×	×	×
1207　複式釣りばり	○	○	×	○	×	×	×
1208　擬餌ばり	○	○	×	○	×	×	×
1209　石干見	×	○	×	×	×	×	×
1210　えり	×	×	○	×	×	×	×
1211　凧揚げ漁	○	×	×	×	×	×	×
1212　魚毒	×	○	○	○	×	○	○
1213　松明漁	○	○	○	○	×	×	×

	低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
	Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
1214 鵜飼漁	×	○	×	×	×	×	×
1215 サメ漁	×	○	×	○	×	×	○
1216 柴漬漁	×	×	×	×	×	×	×
1217 泥ぞり	×	×	×	×	×	×	×
1218 水田漁撈	×	×	×	×	×	×	×
1219 潜水漁撈・採集	○	○	○	×	×	×	○
1301 農耕 タロイモ栽培	○	○	○	○	○	○	○
1302 タロイモ水田栽培	○	×	○	○	×	×	×
1303 ヤムイモ栽培	×	×	×	×	○	○	○
1304 サツマイモ栽培	○	×	○	○	○	○	○
1305 パンノキ栽培	○	○	○	○	○	×	○
1306 料理バナナ栽培	○	×	○	○	○	○	○
1307 オカボ栽培	×	×	×	×	×	×	×
1308 赤米(の存在の有無)	×	×	×	×	×	×	×
1309 雑穀栽培	×	×	×	×	×	×	×
1310 水稲栽培	×	×	×	×	×	×	×
1311 階段状耕地	×	×	×	○	×	×	×
1312 焼畑耕作	×	×	○	×	○	○	○
1313 掘棒	○	×	○	○	○	○	○
1314 唐すき	×	×	×	×	×	×	×
1315 くわ	×	×	○	×	×	○	×
1316 たて杵とたて臼	×	×	×	×	×	×	×

		低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
		Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
1317	ふみ臼	×	×	×	×	×	×	×
1318	牛に踏ませる脱穀	×	×	×	×	×	×	×
1319	高床穀倉	×	×	×	×	×	×	○
1320	家畜　ニワトリ	○	×	○	○	○	×	○
1321	家畜　ブタ	○	○	○	○	○	○	○
1322	家畜　水牛	×	×	×	×	×	×	×
1323	家畜　牛	×	×	×	○	○	×	×
1401	食物・料理法　サゴヤシ澱粉	×	×	×	×	×	○	×
1402	乳製品	×	×	×	×	×	×	×
1403	魚醤	×	×	×	×	×	×	×
1404	キンマ(ベテル・ナッツ)噛み	×	×	○	×	×	○	○
1405	発酵茶	×	×	×	×	×	×	○
1406	カヴァ	×	×	×	○	×	○	×
1407	酒(原料・製法問わず)	○	×	×	○	×	×	×
1408	甑	×	×	×	×	×	×	×
1409	地炉石焼	○	○	×	○	○	○	○
1502	流通交換　鋳造貨幣	×	×	×	×	○	×	×
1503	子安貝	×	×	×	×	×	×	×
1504	石貨	×	×	×	×	×	×	×
1505	(貨幣としての)貝がらビーズ	×	×	×	×	×	×	○
1506	むしろ(パンダナス)	○	×	×	×	×	×	×
1601	交通運搬　頭上運搬	×	×	○	×	×	×	○

		低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
		Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
1602	頭部支持背負い運搬	×	×	×	×	×	○	×
1603	天秤棒	×	○	×	○	×	×	○
1604	肩掛け運搬具	×	×	○	×	×	×	×
1605	木橇(しゅら)	×	×	×	×	×	×	×
1606	輿(人間をはこぶため)	×	×	×	×	×	×	×
1607	牛車	×	×	×	×	×	×	×
1608	つり橋	×	×	×	×	×	×	×
1701 船	いかだ	×	×	○	×	○	×	×
1702	くり船(アウトリガーなし)	×	×	×	×	×	○	×
1703	シングルアウトリガー・カヌー	○	○	○	○	×	○	○
1704	ダブルアウトリガー・カヌー	×	×	×	×	×	○	×
1705	ダブル・カヌー	×	○	×	○	×	×	×
1706	ゴンドラ型構造船	×	×	×	×	×	×	×
1707	樹皮船	×	×	×	×	×	×	×
1708	家船	×	×	×	×	×	×	×
1709	帆(の有無)	○	○	○	○	×	○	○
2101 家屋	風よけ	○	○	×	×	×	×	×
2102	半球状小屋	×	×	×	×	×	×	×
2103	切妻屋根	○	×	○	○	×	×	○
2104	入母屋屋根	×	×	×	×	○	×	×
2105	寄棟屋根	×	○	×	○	×	○	×
2106	円錐形屋根	×	×	×	×	×	×	×

		低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
		Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
2107	杙上(高床)家屋	×	○	○	○	×	○	×
2108	平土間家屋	○	○	×	○	○	×	○
2111	炊事舎	○	×	○	○	×	×	×
2112	産小屋	○	×	×	○	×	×	×
2113	月経小屋	○	×	×	×	×	×	×
2114	カヌー小屋	○	○	○	○	×	×	×
2115	男の家(男子集会所)	○	×	○	×	○	○	×
2116	樹上家屋	×	×	×	×	×	×	×
2117	ロングハウス	×	×	×	×	×	○	×
2201 家具道具	もみ錐	×	×	×	○	×	×	×
2202	ポンプ錐	×	×	×	○	×	×	×
2203	貝斧	○	○	○	×	×	×	×
2204	石斧	×	×	×	○	○	○	○
2205	膝折柄	○	○	○	○	×	×	×
2206	中間鞘つき着柄	×	×	×	×	×	×	×
2207	垂直柄に刀をはめこむ	×	×	○	×	×	○	×
2208	たが式着柄法	×	○	×	×	×	×	×
2209	樹脂着柄法(れきせいを含む)	×	×	×	×	×	×	×
2210	枕	○	×	×	○	×	○	×
2211	油脂ランプ	○	×	○	○	×	×	×
2212	複数脚つき木鉢	×	×	○	×	×	×	×
2213	脚なし木鉢	○	○	○	○	×	○	×

		低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
		Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
2214	動物形木鉢	○	×	○	○	×	×	×
2215	うるし技法	×	×	×	×	×	×	×
2303 服飾	ターバン	×	×	×	×	×	×	×
2304	パンダナス製雨頭巾	×	○	×	×	○	○	×
2305	貫頭衣	○	×	×	×	×	×	×
2306	肩かけマント	×	○	×	○	×	×	×
2307	腰みの	×	×	○	○	○	○	○
2308	腰巻	○	○	×	○	×	×	×
2309	ふんどし(男性用)	○	○	○	○	○	×	○
2310	陰茎鞘(ペニスケース)	×	×	×	×	×	×	×
2311	脚はん	×	×	×	×	×	×	×
2312	長ぐつ(半長ぐつ)	×	×	×	×	×	×	×
2313	草鞋	×	○	×	×	×	×	×
2314	石製飾り輪(腕輪・首輪など)	×	○	×	×	×	×	×
2315	貝製飾り輪(腕輪・首輪など)	○	○	○	○	×	○	○
2316	金属製飾り輪(腕輪・首輪など)	×	×	×	×	×	×	×
2317	子安貝製装身具	×	×	×	×	×	×	×
2318	猪牙製装身具	×	×	×	×	×	×	×
2501 織物・タパ加工	樹皮布	○	○	○	○	×	○	×
2502	単綜絖織機(地機)	○	×	×	×	×	×	×
2503	高機(踏み織機)	×	×	×	×	×	×	×
2504	ろうけつ染	×	×	×	×	×	×	×

		低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
		Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
2505	絣(ikat)	×	×	×	×	×	×	×
2506	しぼり染め(plangi)	×	×	×	×	×	×	×
2507	木綿	○	×	×	×	×	×	×
2508	絹	×	×	×	×	×	×	×
2509	芭蕉布	○	×	×	×	×	×	○
2601 バスケット・土器	笊(ざる)	×	×	×	×	×	×	○
2602	篩(ふるい)	×	×	×	×	×	×	×
2603	箕(み)	×	×	×	×	×	×	×
2604	パンダナスの葉製かご	○	×	○	○	×	○	○
2605	竹製かご	×	×	×	×	×	×	○
2606	把手つきかご	×	×	×	×	×	○	×
2607	土器製造(の有無)	×	×	○	×	×	×	○
2701 鍛冶・金属加工	製鉄技術	×	×	×	×	×	×	×
2703	マレー式フイゴ	×	×	×	×	×	×	×
2704	箱式フイゴ	×	×	×	×	×	×	×
2705	皮フイゴ	×	×	×	×	×	×	×
2706	踏みフイゴ	×	×	×	×	×	×	×
2708	金銀細工	×	×	×	×	×	×	×
2801 武器	ブーメラン	×	×	×	×	×	×	×
2802	投石器	○	○	×	○	×	×	×
2803	弓	×	×	○	×	○	○	×
2804	いしゆみ	×	×	×	×	×	×	×

	低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
	Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
2805 こん棒	○	○	○	○	×	○	○
2806 刀剣	×	×	○	×	○	×	×
2808 クリス	×	×	×	×	×	×	×
2809 サメの歯付き武器	○	○	×	×	×	○	○
2810 楯(の有無)	×	×	×	×	×	×	×
2814 鎧	×	×	×	×	×	×	×
2815 槍	×	○	○	○	○	○	○
2901 発火法 発火錐	×	×	○	×	×	○	×
2902 発火鋸	×	×	×	×	×	×	×
2903 発火籐	×	×	×	×	×	×	○
2904 発火犁	○	○	×	○	×	○	×
2905 火打石	×	×	×	×	×	×	×
2906 火打金	×	×	×	×	×	×	×
2907 発火ポンプ	×	×	×	×	×	×	×
3408 集落・地域組織 出作り小屋(田屋を含む)	×	×	×	○	×	×	×
4212 宗教 巨石記念物(メンヒル・ドルメン)	×	×	×	×	×	×	×
5201 芸術 ブルローラー(うなり板)	×	×	×	○	×	○	×
5202 割目太鼓	×	×	×	○	×	×	×
5203 皮張り太鼓	×	○	×	○	×	○	×
5204 砂時計型太鼓	×	×	×	×	○	○	×
5205 銅鼓(現代における使用)	×	×	×	×	×	×	×
5206 フルート(横笛)	×	×	○	×	×	○	×

		低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
		Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
5207	たて笛	×	×	×	○	×	×	×
5208	パンパイプ	×	×	×	×	×	○	×
5209	笙	×	×	×	×	×	×	×
5210	ホラ貝	○	×	×	○	×	○	○
5211	シロフォン	×	×	×	×	×	×	×
5212	口琴	×	×	○	×	×	○	×
5213	絃楽器	×	×	×	○	×	×	×
5214	仮面舞踏	×	×	×	×	×	○	×
5215	足を組んだ坐像(仏像を含む)	×	×	×	×	×	×	×
5216	蹲踞人像	×	×	○	○	×	×	×
5217	二重らせん	×	×	×	×	×	×	×
5218	切線円	×	×	×	×	×	×	×
5219	鋸歯紋	○	×	○	×	×	×	×
5220	らでん(螺鈿)	×	×	○	×	×	×	×
5301 娯楽	竹馬	×	×	×	○	×	×	×
5302	凧	×	×	○	○	×	×	×
5303	ボール遊び	×	○	○	○	×	○	×
5304	こま	×	×	○	○	×	×	×
5305	チェス類	×	×	×	×	×	×	×
5306	人形芝居	×	×	×	×	×	×	×
5307	影絵	×	×	×	×	×	×	×
5308	闘鶏	×	×	○	×	×	×	×

		低い島		高い島		ニューギニア 高	ニューギニア 低	メラネシア島嶼
		Satawal	Tuamotu	Palau	Marquesas	Enga	Kiwai	Trobriand
5309	闘牛	×	×	×	×	×	×	×
5310	ブランコ	×	×	×	×	×	×	○
5311	あやとり	×	○	○	○	×	×	×
5312	舟競争	×	○	○	○	×	×	×